



2018年11月13日

各 位

会社名 大同特殊鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 石黒 武
(コード番号5471 東、名証第1部)
問合せ先 総務部長 岩本 順司
(TEL. 052-963-7501)

(訂正)過年度決算短信等及び有価証券報告書等の一部訂正に関するお知らせ

当社が過去に開示しました決算短信および四半期決算短信に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、これに伴い、同期間の有価証券報告書等に係る訂正報告書につきましても、本日関東財務局へ提出いたします。

記

1. 訂正の理由

会計システムの整備に際し、過去に開示しました決算短信等および有価証券報告書等の「セグメント情報等」においてセグメントごとの売上高の金額に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正するものです。訂正内容は売上高のセグメント間の入り繰りの訂正であります。

2. 提出する訂正報告書

第93期第1四半期 四半期報告書
第93期第2四半期 四半期報告書
第93期第3四半期 四半期報告書
第93期 有価証券報告書
第94期第1四半期 四半期報告書
第94期第2四半期 四半期報告書
第94期第3四半期 四半期報告書
第94期 有価証券報告書
第95期第1四半期 四半期報告書

3. 訂正する決算短信

「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 9, 10 ページ
「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 11, 12, 13 ページ
「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 9, 10 ページ
「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 16, 18, 19 ページ
「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 9, 10 ページ
「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 11, 12, 13 ページ
「平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 9, 10 ページ
「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 17, 19, 20 ページ
「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 9, 10 ページ
「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」【添付資料】 2, 3, 11, 12, 13 ページ

4. 訂正内容

訂正箇所は_____を付して表示しております。

「平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車産業向けの数量が底堅く推移し前年同期比で数量が増加しました。工具鋼の数量は、国内は横ばいも海外で弱い動きがあり、前年同期比でやや減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年夏場以降、中国が安価な鉄鋼中間製品を周辺アジア諸国に輸出していることを背景に、前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格も前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 10.0%減少の 389 億 68 百万円、営業利益は前年同期比 5 億 11 百万円増益の 8 億 28 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 48.3%増加の 31 億 17 百万円、営業利益は前年同期比 1 億 14 百万円増益の 4 億 24 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車産業向けの数量が底堅く推移し前年同期比で数量が増加しました。工具鋼の数量は、国内は横ばいも海外で弱い動きがあり、前年同期比でやや減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年夏場以降、中国が安価な鉄鋼中間製品を周辺アジア諸国に輸出していることを背景に、前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格も前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 9.1%減少の 393 億 77 百万円、営業利益は前年同期比 5 億 11 百万円増益の 8 億 28 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 28.8%増加の 27 億 7 百万円、営業利益は前年同期比 1 億 14 百万円増益の 4 億 24 百万円となりました。

3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）（9ページ）

（訂正前）

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	38,968	35,473	23,120	5,477	3,117	106,156	—	106,156
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,947	3,866	5,535	332	2,656	27,338	△27,338	—
計	53,915	39,340	28,655	5,809	5,773	133,495	△27,338	106,156
セグメント利益 又は損失(△)	828	3,559	△734	11	424	4,090	0	4,090

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	39,377	35,473	23,120	5,477	2,707	106,156	—	106,156
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,538	3,866	5,535	332	2,656	26,929	△26,929	—
計	53,915	39,340	28,655	5,809	5,364	133,086	△26,929	106,156
セグメント利益 又は損失(△)	828	3,559	△734	11	424	4,090	0	4,090

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料（10ページ）

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う海外需要の減少等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年夏場以降、中国が安価な鉄鋼中間製品を周辺アジア諸国に輸出していることを背景に、前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は原材料価格の下落に伴う販売価格の低下により前年同期比 9.1%減少の 780 億 81 百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比 5 億 23 百万円増益の 26 億 6 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 23.2%増加の 56 億 84 百万円となりました。営業利益は前年同期比 1 億 90 百万円増益の 8 億 17 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う海外需要の減少等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年夏場以降、中国が安価な鉄鋼中間製品を周辺アジア諸国に輸出していることを背景に、前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は原材料価格の下落に伴う販売価格の低下により前年同期比 8.3%減少の 787 億 91 百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比 5 億 23 百万円増益の 26 億 6 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 7.9%増加の 49 億 75 百万円となりました。営業利益は前年同期比 1 億 90 百万円増益の 8 億 17 百万円となりました。

3. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）（11 ページ）

（訂正前）

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,081	71,122	46,671	11,450	5,684	213,010	—	213,010
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,737	7,299	10,460	773	5,782	55,054	△55,054	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	11,467	268,064	△55,054	213,010
セグメント利益 又は損失(△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,791	71,122	46,671	11,450	4,975	213,010	—	213,010
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,027	7,299	10,460	773	5,782	54,344	△54,344	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	10,757	267,354	△54,344	213,010
セグメント利益 又は損失(△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料（12, 13 ページ）

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う在庫調整の影響等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、11 月までは比較的低位安定で推移したことから前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 6.9%減少の 1,189 億 9 百万円、営業利益は前年同期比 4 億 18 百万円減益の 44 億 58 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比 26.9%増加の 86 億 27 百万円、営業利益は前年同期比 3 億 33 百万円増益の 12 億 66 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う在庫調整の影響等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、11 月までは比較的低位安定で推移したことから前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 6.0%減少の 1,200 億 98 百万円、営業利益は前年同期比 4 億 18 百万円減益の 44 億 58 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比 9.4%増加の 74 億 38 百万円、営業利益は前年同期比 3 億 33 百万円増益の 12 億 66 百万円となりました。

3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）（9ページ）

（訂正前）

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>118,909</u>	108,794	70,875	16,329	<u>8,627</u>	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>48,006</u>	11,029	16,687	1,241	8,704	<u>85,670</u>	<u>△85,670</u>	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	<u>17,332</u>	<u>409,207</u>	<u>△85,670</u>	323,536
セグメント利益 又は損失（△）	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>120,098</u>	108,794	70,875	16,329	<u>7,438</u>	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>46,817</u>	11,029	16,687	1,241	8,704	<u>84,481</u>	<u>△84,481</u>	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	<u>16,143</u>	<u>408,018</u>	<u>△84,481</u>	323,536
セグメント利益 又は損失（△）	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料（10ページ）

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前期比で増加しました。工具鋼は、在庫調整の影響で数量が前期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、中国ビレット価格の影響を受け春先に急騰・急落したあと、比較的安定的に推移していましたが、原料炭価格の上昇を受け秋口以降上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、原材料価格の動きに連動する販売価格の低下等から前期比 4.4%減少の 1,630 億 86 百万円、営業利益は 11 月以降の原材料価格の上昇に伴うコスト増加等が影響し前期比 17 億 47 百万円減益の 58 億 13 百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

流通・サービス部門については、大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当連結会計年度における売上高は、前期比 34.6%増加の 121 億 58 百万円、営業利益については前期比 4 億 10 百万円増益の 15 億 83 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前期比で増加しました。工具鋼は、在庫調整の影響で数量が前期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、中国ビレット価格の影響を受け春先に急騰・急落したあと、比較的安定的に推移していましたが、原料炭価格の上昇を受け秋口以降上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、原材料価格の動きに連動する販売価格の低下等から前期比 3.4%減少の 1,646 億 36 百万円、営業利益は 11 月以降の原材料価格の上昇に伴うコスト増加等が影響し前期比 17 億 47 百万円減益の 58 億 13 百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

流通・サービス部門については、大同特殊鋼(上海)有限公司を新たに連結したこと等から、当連結会計年度における売上高は、前期比 17.5%増加の 106 億 8 百万円、営業利益については前期比 4 億 10 百万円増益の 15 億 83 百万円となりました。

3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 (16 ページ)

(訂正前)

当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	<u>163,086</u>	148,468	97,491	23,917	<u>12,158</u>	445,122	—	445,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>65,879</u>	15,027	22,839	1,669	11,888	<u>117,304</u>	<u>△117,304</u>	—
計	228,965	163,495	120,331	25,587	<u>24,047</u>	<u>562,427</u>	<u>△117,304</u>	445,122
セグメント利益 又は損失(△)	5,813	17,416	△516	1,218	1,583	25,515	△2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	—	23,275
持分法適用会社への 投資額	4,945	5,108	432	126	—	10,613	468	11,081
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	—	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	<u>164,636</u>	148,468	97,491	23,917	<u>10,608</u>	445,122	—	445,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>64,329</u>	15,027	22,839	1,669	11,888	<u>115,754</u>	<u>△115,754</u>	—
計	228,965	163,495	120,331	25,587	<u>22,497</u>	<u>560,877</u>	<u>△115,754</u>	445,122
セグメント利益 又は損失(△)	5,813	17,416	△516	1,218	1,583	25,515	△2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	—	23,275
持分法適用会社への 投資額	4,945	5,108	432	126	—	10,613	468	11,081
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	—	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料 (18,19ページ)

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 30 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年末より上昇したため前年同期比では上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しました。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 15.6%増加の 450 億 31 百万円、営業利益は前年同期比 11 億 86 百万円増益の 20 億 15 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 14.7%増加の 35 億 73 百万円、営業利益は前年同期比 2 億 38 百万円増益の 6 億 62 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年末より上昇したため前年同期比では上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しました。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 15.8%増加の 455 億 89 百万円、営業利益は前年同期比 11 億 86 百万円増益の 20 億 15 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 11.4%増加の 30 億 16 百万円、営業利益は前年同期比 2 億 38 百万円増益の 6 億 62 百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (9 ページ)

(訂正前)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への 売上高	38,968	35,473	23,120	5,477	3,117	106,156	—	106,156
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,947	3,866	5,535	332	2,656	27,338	△27,338	—
計	53,915	39,340	28,655	5,809	5,773	133,495	△27,338	106,156
セグメント利益 又は損失 (△)	828	3,559	△734	11	424	4,090	0	4,090

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	45,031	40,402	25,705	4,419	3,573	119,133	—	119,133
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,661	4,045	6,205	488	2,909	32,309	△32,309	—
計	63,693	44,447	31,910	4,907	6,483	151,443	△32,309	119,133
セグメント利益	2,015	5,375	747	250	662	9,051	△1	9,049

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	39,377	35,473	23,120	5,477	2,707	106,156	—	106,156
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,538	3,866	5,535	332	2,656	26,929	△26,929	—
計	53,915	39,340	28,655	5,809	5,364	133,086	△26,929	106,156
セグメント利益 又は損失(△)	828	3,559	△734	11	424	4,090	0	4,090

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	45,589	40,402	25,705	4,419	3,016	119,133	—	119,133
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,103	4,045	6,205	488	2,909	31,752	△31,752	—
計	63,693	44,447	31,910	4,907	5,925	150,885	△31,752	119,133
セグメント利益	2,015	5,375	747	250	662	9,051	△1	9,049

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料（10ページ）

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は前年同期比 15.7%増加の 903 億 49 百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比 21 億 80 百万円増益の 47 億 86 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 31.9%増加の 74 億 96 百万円となりました。営業利益は前年同期比 5 億 5 百万円増益の 13 億 22 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は前年同期比 16.1%増加の 914 億 55 百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比 21 億 80 百万円増益の 47 億 86 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 28.5%増加の 63 億 90 百万円となりました。営業利益は前年同期比 5 億 5 百万円増益の 13 億 22 百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (11 ページ)

(訂正前)

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>78,081</u>	71,122	46,671	11,450	<u>5,684</u>	213,010	—	213,010
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>30,737</u>	7,299	10,460	773	5,782	<u>55,054</u>	<u>△55,054</u>	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	<u>11,467</u>	<u>268,064</u>	<u>△55,054</u>	213,010
セグメント利益 又は損失 (△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	90,349	81,068	51,733	10,471	7,496	241,119	—	241,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,741	7,021	10,042	1,060	5,647	54,513	△54,513	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	13,143	295,632	△54,513	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,791	71,122	46,671	11,450	4,975	213,010	—	213,010
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,027	7,299	10,460	773	5,782	54,344	△54,344	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	10,757	267,354	△54,344	213,010
セグメント利益 又は損失 (△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	91,455	81,068	51,733	10,471	6,390	241,119	—	241,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	29,635	7,021	10,042	1,060	5,647	53,408	△53,408	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	12,038	294,527	△53,408	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料 (12, 13ページ)

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 16.8%増加の 1,388 億 29 百万円、営業利益は前年同期比 16 億 6 百万円増益の 60 億 64 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 3 四半期連結累計期間の流通・サービスの売上高は前年同期比 38.3%増加の 119 億 36 百万円、営業利益は前年同期比 8 億 66 百万円増益の 21 億 32 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前年同期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前年同期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で上昇しています。

これらの結果、当第 3 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 17.0%増加の 1,405 億 45 百万円、営業利益は前年同期比 16 億 6 百万円増益の 60 億 64 百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当第 3 四半期連結累計期間の流通・サービスの売上高は前年同期比 37.4%増加の 102 億 20 百万円、営業利益は前年同期比 8 億 66 百万円増益の 21 億 32 百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (9 ページ)

(訂正前)

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>118,909</u>	108,794	70,875	16,329	<u>8,627</u>	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>48,006</u>	11,029	16,687	1,241	8,704	<u>85,670</u>	<u>△85,670</u>	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	<u>17,332</u>	<u>409,207</u>	<u>△85,670</u>	323,536
セグメント利益 又は損失 (△)	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	138,829	125,507	78,366	16,207	11,936	370,846	—	370,846
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,975	11,322	17,426	1,490	8,528	87,745	△87,745	—
計	187,805	136,829	95,793	17,698	20,465	458,592	△87,745	370,846
セグメント利益	6,064	16,629	2,035	1,014	2,132	27,876	△4	27,871

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	120,098	108,794	70,875	16,329	7,438	323,536	—	323,536
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	46,817	11,029	16,687	1,241	8,704	84,481	△84,481	—
計	166,916	119,824	87,563	17,570	16,143	408,018	△84,481	323,536
セグメント利益 又は損失(△)	4,458	12,418	△1,107	591	1,266	17,626	4	17,631

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	140,545	125,507	78,366	16,207	10,220	370,846	—	370,846
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47,259	11,322	17,426	1,490	8,528	86,029	△86,029	—
計	187,805	136,829	95,793	17,698	18,749	456,876	△86,029	370,846
セグメント利益	6,064	16,629	2,035	1,014	2,132	27,876	△4	27,871

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料（10ページ）

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「平成 30 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 (2, 3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前期比で上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇から前期比 14.6%増加の 1,868 億 35 百万円、営業利益は前期比 6 億 64 百万円増益の 64 億 78 百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の売上数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当連結会計年度における売上高は、前期比 35.2%増加の 164 億 42 百万円、営業利益については前期比 11 億 2 百万円増益の 26 億 86 百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前期比で上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇から前期比 14.9%増加の 1,890 億 95 百万円、営業利益は前期比 6 億 64 百万円増益の 64 億 78 百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の売上数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当連結会計年度における売上高は、前期比 33.7%増加の 141 億 82 百万円、営業利益については前期比 11 億 2 百万円増益の 26 億 86 百万円となりました。

3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 (17 ページ)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	<u>163,086</u>	148,468	97,491	23,917	<u>12,158</u>	445,122	—	445,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>65,879</u>	15,027	22,839	1,669	11,888	<u>117,304</u>	<u>△117,304</u>	—
計	228,965	163,495	120,331	25,587	<u>24,047</u>	<u>562,427</u>	<u>△117,304</u>	445,122
セグメント利益 又は損失(△)	5,813	17,416	△516	1,218	1,583	25,515	△2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	—	23,275
持分法適用会社への 投資額	4,945	5,108	432	126	—	10,613	468	11,081
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	—	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	<u>186,835</u>	170,787	106,289	24,864	<u>16,442</u>	505,219	—	505,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>67,973</u>	16,021	24,518	2,110	11,430	<u>122,053</u>	<u>△122,053</u>	—
計	254,808	186,809	130,807	26,974	<u>27,872</u>	<u>627,272</u>	<u>△122,053</u>	505,219
セグメント利益	6,478	22,195	3,070	1,835	2,686	36,266	△48	36,218
セグメント資産	211,865	205,127	142,667	19,613	21,389	600,663	44,378	645,041
その他の項目								
減価償却費	7,237	6,306	5,564	270	1,361	20,740	—	20,740
持分法適用会社への 投資額	5,273	5,606	462	138	—	11,480	522	12,002
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	8,206	12,087	14,139	253	919	35,605	—	35,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前連結会計年度（自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	164,636	148,468	97,491	23,917	10,608	445,122	—	445,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,329	15,027	22,839	1,669	11,888	115,754	△115,754	—
計	228,965	163,495	120,331	25,587	22,497	560,877	△115,754	445,122
セグメント利益 又は損失(△)	5,813	17,416	△516	1,218	1,583	25,515	△2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	—	23,275
持分法適用会社への 投資額	4,945	5,108	432	126	—	10,613	468	11,081
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	—	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	189,095	170,787	106,289	24,864	14,182	505,219	—	505,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,712	16,021	24,518	2,110	11,430	119,793	△119,793	—
計	254,808	186,809	130,807	26,974	25,612	625,012	△119,793	505,219
セグメント利益	6,478	22,195	3,070	1,835	2,686	36,266	△48	36,218
セグメント資産	211,865	205,127	142,667	19,613	21,389	600,663	44,378	645,041
その他の項目								
減価償却費	7,237	6,306	5,564	270	1,361	20,740	—	20,740
持分法適用会社への 投資額	5,273	5,606	462	138	—	11,480	522	12,002
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	8,206	12,087	14,139	253	919	35,605	—	35,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料 (19, 20ページ)

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や建機、産機向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車業界の好調さ等を受け数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、需要の増加を受けて上昇しました。世界経済の好調さから合金価格も上昇しました。また、中国の環境規制の影響を受け、製鋼副資材の電極価格も大幅に上昇しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 17.1%増加の527億12百万円となりましたが、営業利益は副資材価格上昇等が影響し前年同期比9億68百万円減益の10億46百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

前年同期と大きく環境が変わらず、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 4.7%減少の34億4百万円、営業利益は前年同期比10百万円増益の6億73百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や建機、産機向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車業界の好調さ等を受け数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、需要の増加を受けて上昇しました。世界経済の好調さから合金価格も上昇しました。また、中国の環境規制の影響を受け、製鋼副資材の電極価格も大幅に上昇しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比 15.6%増加の527億12百万円となりましたが、営業利益は副資材価格上昇等が影響し前年同期比9億68百万円減益の10億46百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

前年同期と大きく環境が変わらず、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 12.9%増加の34億4百万円、営業利益は前年同期比10百万円増益の6億73百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (9 ページ)

(訂正前)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>45,031</u>	40,402	25,705	4,419	<u>3,573</u>	119,133	—	119,133
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>18,661</u>	4,045	6,205	488	2,909	<u>32,309</u>	<u>△32,309</u>	—
計	63,693	44,447	31,910	4,907	<u>6,483</u>	<u>151,443</u>	<u>△32,309</u>	119,133
セグメント利益	2,015	5,375	747	250	662	9,051	△1	9,049

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>45,589</u>	40,402	25,705	4,419	<u>3,016</u>	119,133	—	119,133
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	<u>18,103</u>	4,045	6,205	488	2,909	<u>31,752</u>	<u>△31,752</u>	—
計	63,693	44,447	31,910	4,907	<u>5,925</u>	<u>150,885</u>	<u>△31,752</u>	119,133
セグメント利益	2,015	5,375	747	250	662	9,051	△1	9,049

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料(10ページ)

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (2,3 ページ)

(訂正前)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、自動車関連需要が高位で推移したこと、産業機械向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車業界の堅調さ等を受け前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要が旺盛であったため前年同期比で上昇しました。製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も上昇し、コストアップとなりました。販売価格は原料・副資材価格の上昇を反映し前年同期比で上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は数量増・販売価格上昇により前年同期比 12.9%増加の1,020億48百万円、営業利益は副資材価格等のコストアップが響き、前年同期比26億48百万円減益の21億38百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 8.5%減少の68億56百万円となりました。営業利益は前年同期比13百万円増益の13億36百万円となりました。

(訂正後)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、自動車関連需要が高位で推移したこと、産業機械向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車業界の堅調さ等を受け前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要が旺盛であったため前年同期比で上昇しました。製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も上昇し、コストアップとなりました。販売価格は原料・副資材価格の上昇を反映し前年同期比で上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は数量増・販売価格上昇により前年同期比 11.6%増加の1,020億48百万円、営業利益は副資材価格等のコストアップが響き、前年同期比26億48百万円減益の21億38百万円となりました。

(省略)

⑤流通・サービス

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 7.3%増加の68億56百万円となりました。営業利益は前年同期比13百万円増益の13億36百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)(11 ページ)

(訂正前)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>90,349</u>	81,068	51,733	10,471	<u>7,496</u>	241,119	—	241,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>30,741</u>	7,021	10,042	1,060	5,647	<u>54,513</u>	<u>△54,513</u>	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	<u>13,143</u>	<u>295,632</u>	<u>△54,513</u>	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>91,455</u>	81,068	51,733	10,471	<u>6,390</u>	241,119	—	241,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>29,635</u>	7,021	10,042	1,060	5,647	<u>53,408</u>	<u>△53,408</u>	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	<u>12,038</u>	<u>294,527</u>	<u>△53,408</u>	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料(12,13ページ)

セグメント別売上高につきまして入り繰りがありましたが、上述と同内容の訂正のため記載を省略しております。

以上